

# オートマチック・アンテナ・チューナー FC-30 取扱説明書

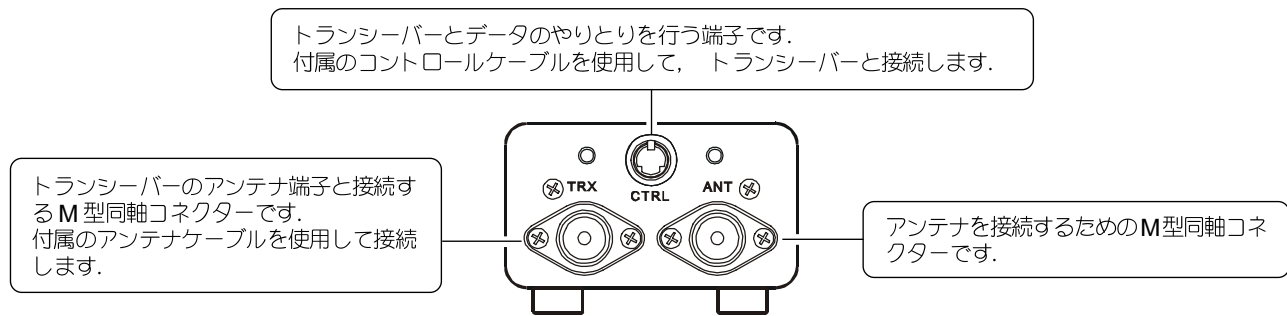
バーテックススタンダードの製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

お買い上げ頂きました“FC-30”は、当社のトランシーバー FT-897 用のオートマチック・アンテナ・チューナーです。トランシーバーのアンテナ端子とアンテナ間のインピーダンス整合を行うマイクロコンピュータ制御のオートマチック・アンテナ・チューナーで、SWR が十分に下がらないときに使用します。

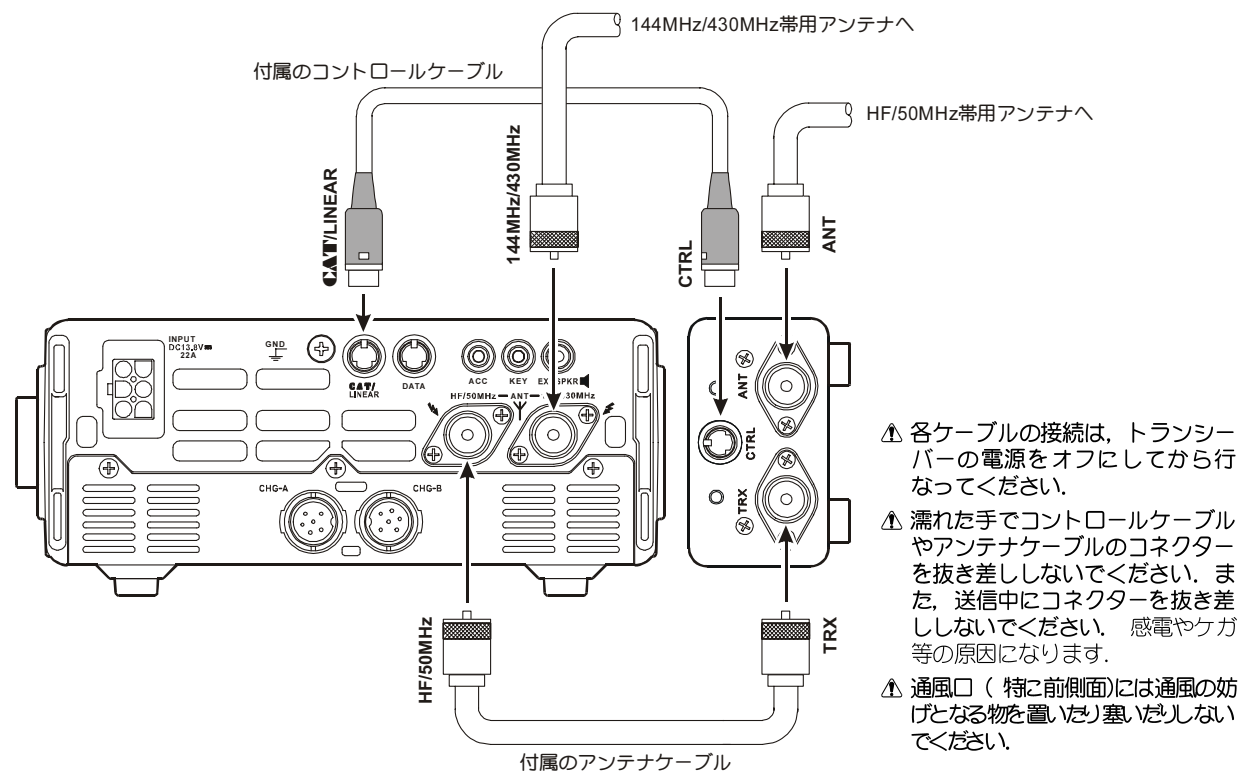
なお、本機で整合することのできる範囲は、1.8MHz～30MHz、50MHz～54MHzのアマチュアバンドで SWR = 3 以下（インピーダンスにして 16.5 Ω～150 Ω）です。また、“ホイップアンテナ”や“ロングワイヤー・アンテナ”などの“ワイヤー型アンテナ”への単線による給電はできません”のでご注意ください。

なお、詳しい操作方法や動作説明などは、お手持ちのトランシーバーの取扱説明書に記載しておりますので、そちらをご覧ください。

## 後面の説明



## 接続例

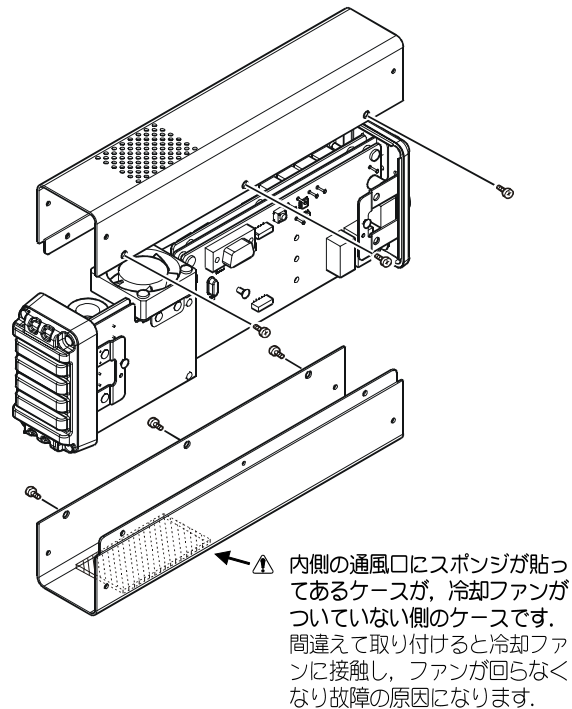


## 各種の設定

ディップスイッチを切り替えることにより、受信中にチューナーを通して使用することができます。また、チューニングしてメモリーしたデータを一括に消去することができます。

### ケースの開け方

1. トランシーバーの電源をオフにします。
2. 6本のビスを外して、ケースを取り外します。
3. 設定後、ケースを元通りに取り付けます。



### 受信中にチューナーを使用する

クロスバンド運用時に、送受信の周波数が数100kHz以上離れる場合は、この設定にしないでください。

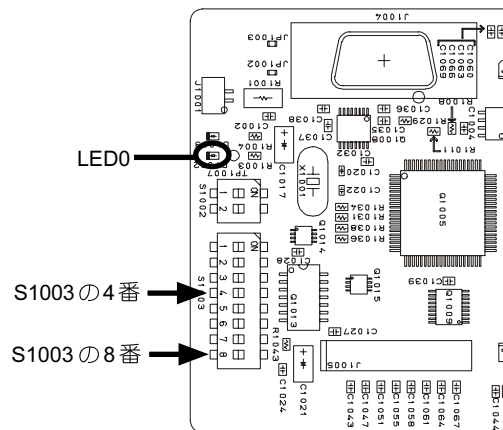
1. トランシーバーの電源がオフになっているか確認します。
2. S1003の8番を“ON”にします。
3. ケースを元通りに取り付けます。

### メモリーを一括に消去する

1. トランシーバーとFC-30が、コントロールケーブルで接続されているか確認します。
2. トランシーバーの電源がオフになっているか確認します。
3. S1003の4番を“ON”にします。
4. トランシーバーの電源をオンにします。  
LED0が緑色に点灯し、しばらく経つと消灯します。

⚠ 冷却ファンが回転しますので、冷却用ファンに触れないよう注意してください。故障やケガ等の原因となります。

5. S1003の4番を“OFF”にします。
6. トランシーバーの電源をオフにします。
7. ケースを元通りに取り付けます。



## 使用上の注意

- ディップスイッチの工場出荷時の設定は、下記ようになります。  
S1003の4番と8番以外のスイッチは、工場調整用ですので触れないようにしてください。誤って設定を換えてしまったときは、下表を参考にスイッチの位置を戻してください。

S1002

| 番号 | スイッチの位置 |
|----|---------|
| 1  | OFF     |
| 2  | OFF     |

S1003

| 番号 | スイッチの位置 | 番号 | スイッチの位置 |
|----|---------|----|---------|
| 1  | OFF     | 5  | ON      |
| 2  | OFF     | 6  | ON      |
| 3  | OFF     | 7  | OFF     |
| 4  | OFF     | 8  | OFF     |

## 定 格

周 波 数 範 囲：1.8MHz～30MHz、50MHz～54MHz  
入カインピーダンス：50 Ω  
最大定格入力電力：100W  
整 合 時 SWR：1:1.5以下  
整 合 動 作 電 力：4W～60W  
整 合 動 作 時 間：5秒以下  
整合範囲インピーダンス：1.8MHz～30MHz、50MHz～54MHz：  
16.5 Ω～150 Ω  
メモリーチャンネル数：合計 100 チャンネル  
電 源 電 圧：直流 13.8V ± 15%  
動 作 温 度 範 囲：-10℃～+50℃  
ケース寸法（突起物を除く）：80(幅)×45(高さ)×260(奥行き)mm  
本 体 重 量：約 1kg

## 付属品

アンテナケーブル (0.5 m) ..... 1  
コントロールケーブル (0.5 m) ..... 1  
取り付け金具一式 ..... 1

製造元・株式会社バーテックススタンダード  
〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8